



まだ知らない、地球



NATIONAL GEOGRAPHIC

National Geographic Creative

世界最大の結晶洞窟 / カーステン・ペーター 2008年 メキシコ



# 四日市公害と環境未来館 特別展

## ナショナル ジオグラフィック写真展

### 地球の真実

2016年4月23日(土)～6月5日(日)

【会場】 そらんぼ四日市 (市立博物館) 4階  
特別展示室

【時間】 9時半～17時 (入館は16時半まで)

【休館日】 月曜日 (5月2日は開館)

【観覧料】 大人500円 高大生350円 中学生以下無料



世界とそこにあるもの、すべてを明らかにする

1888年の創刊から128年を迎えるナショナル ジオグラフィックは地球上の様々な事柄を綿密に取材した記事と、各分野の第一線の写真家たちによるダイナミックな写真で読者に届けられる世界的な写真雑誌です。今や40か国の言語に翻訳され、850万人の読者に親しまれています。1995年に英語以外の初の外国語版として発行されたナショナル ジオグラフィック日本版は、2015年に創刊20周年を迎えました。本展では、ナショナル ジオグラフィックの所有する1,100万点に及ぶ膨大なフォトコレクションから、岩合 光昭、野町 和嘉といった日本人写真家の作品を含み選定。冒険・探検家の活動記録、圧倒的スケールの大自然や野生動物の生態、そして科学、歴史文化などから選りすぐりの傑作作品を展示します。



アシカの楽園 / デビット・デュビレ 1984年



親子のきずな / 岩合 光昭 1982-83年



泥浴び / マイケル・ニコルズ 2008年

All photos by National Geographic Creative

### こんな四日市があるんだ！

臨海部にコンビナートを有する四日市市は、産業都市のイメージが強いかもしれませんが。しかし、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を臨む四日市市では、四季折々の自然の姿もまた、見る事ができるのです。本展に合わせ、市内を撮影した写真を展示します。これまで気づくことのなかった四日市の姿をご覧ください。



協力 株式会社 日経ナショナル ジオグラフィック社  
富士フイルム株式会社  
後援 日本経済新聞社、中日新聞社、朝日新聞社  
毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社  
エフエムよっかいち、三重エフエム放送、シー・ティー・ワイ  
三重テレビ放送、NHK 津放送局  
企画協力 株式会社 クレヴィス

### ギャラリートークのお知らせ

ナショナル ジオグラフィック日本版編集部スタッフが四日市にやってくる！  
1回の取材で写真家が撮る写真は2~6万枚。そこから編集者の手で50枚ほどに絞り込まれ、最終的に紙面を飾るのは10枚ほど。  
撮影の舞台裏やエピソードをたっぷりお話しいただきます。

【日時】4月29日(金)・5月21日(土)  
各日とも ①13:00~ ②15:00~

【場所】そらんぼ四日市 4階 特別展示室

【料金】無料(座席なし)・聴講にはチケットの購入が必要です

### チケット半券サービスのご案内

展示会のチケット半券で、会期中、四日市都ホテル、近鉄百貨店、ふれあいモール、酒翠庵などの協賛店にて各種飲食サービスが受けられます。

## ナショナル ジオグラフィック写真展にお越しの際は、2階常設展示室へもお立ち寄りください 未来へより良い環境を引き継ぐために――

四日市公害と環境未来館は、四日市公害の歴史と教訓を次世代に伝えるとともに、環境改善の取り組みや、産業の発展と環境保全を両立したまちづくり、さらには、その経験から得た知識や環境技術を国内外に情報発信することを目的としてつくられた施設です



### 四日市公害と環境未来館

〒510-0075 四日市市安島1丁目3番16号  
Tel 059-354-8065 Fax 059-329-5792

【開館時間】 9:30~17:00  
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
【入館料】 無料  
【アクセス】 近鉄四日市駅下車 西へ徒歩3分  
JR四日市駅下車 西へ徒歩20分  
(JR四日市駅~近鉄四日市駅間 路線バス4分)



### 次回展示会のご案内

「第35回 三重県埋蔵文化財展」6月14日~7月17日(入場無料)

### プラネタリウムのご案内

「赤い惑星 火星が接近!」~6月5日(字幕付放映 5月28日)